

高性能気象レーダー（二重偏波フェーズドアレイ気象レーダー）による観測技術の高度化のための研究事業

実施主体：気象庁
事業費：0.5億円
対象事業：調査研究事業

事業目的

二重偏波フェーズドアレイ気象レーダーを用いた局地的大雨・降雹等の顕著な大気現象をもたらす個々の積乱雲の監視・予測技術の高度化に向け、ノイズ軽減技術とデータ圧縮技術の実用化に係る調査研究を実施することで観測技術の高度化を図ります。

事業概要

連携先：情報通信研究機構

局地的大雨・降雹等の顕著な大気現象の防災気象情報を高度化するには、それらをもたらす積乱雲内部における降水粒子の種別情報を精度よく把握し、その全容を素早く観測する技術が必要です。

二重偏波フェーズドアレイ気象レーダーを用いた監視・予測技術の高度化に向け、ノイズ軽減技術とデータ圧縮技術の実用化に係る調査研究を実施します。

<事業スキーム>

情報通信研究機構
情報処理技術
・知見の提供

連携

実用化に係る
調査研究

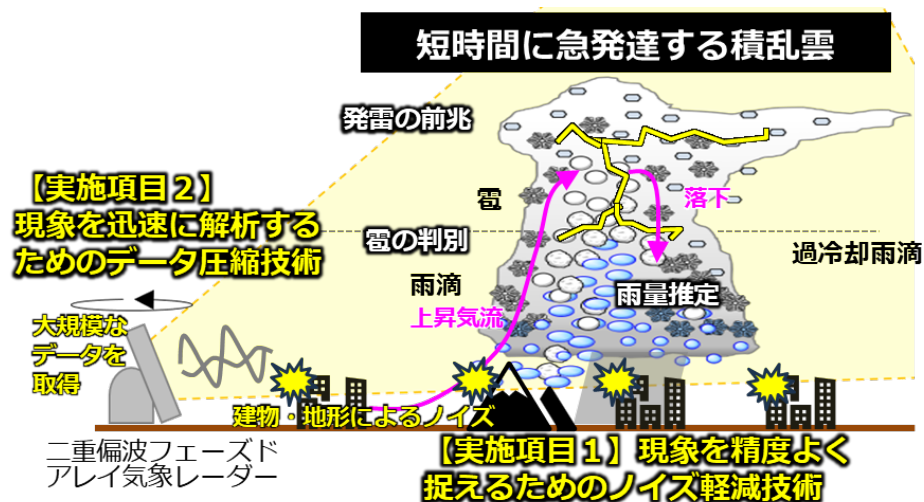
気象研究所
気象学的な
評価の実施

委託

民間事業者

実施イメージ

<本事業で実施する取組>



<本事業により得られる効果>

積乱雲を精度よく迅速に捉える観測技術の実現が見込まれます。このことにより、**短時間かつ局地的に発生する顕著現象の理解**につながるほか、**監視・予測技術の高度化**に資する知見と技術の獲得が期待されることから、事前防災対策の強化につながります。